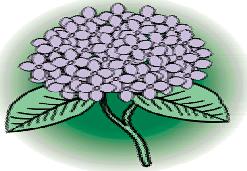


# ワーキングヴォイス



NO. 16 2010年6月15日

急激な高齢化に伴い、介護労働者の増員が必要とされ、人材確保が大きな課題となっています。それに伴い、介護関連の資格を取得できる機会も増えています。そのためキャリアチェンジを図り、介護職へ転職される方も多いようです。

今月号では、ハローワーク松山の介護労働者的人材確保の課題やそれに対する取り組みについてお話を伺い、介護職を目指す職業訓練校の受講生のみなさんにアンケートを実施しました。

ハローワーク松山で介護労働専門官をされている山内氏に、平成22年5月現在の松山管内での介護関連職における求人求職状況等の現状についてお話を伺いました。

## Q1：介護職の求人状況は他の職種に比べて多いですか？

3月の統計で全体求人数3633件中、医療福祉の求人数が816件つまり約2割ということになります。次に多いのが卸売業・小売業で481件ですから、かなり多い業種になると思います。

## Q2：医療福祉の求人数が多いのはどうしてですか？

全般的には増員といいますか、もちろん欠員補充もありますが、グループホームの新設や介護施設の利用者が増えたので介護職員を増やしたいといったニーズが多いと思います。

## Q3：介護職を求める求人票にはどんな特徴がありますか？

昼夜関係なく要介護者がいますので、勤務形態は交替制になっています。そのため休日が不規則となり決まった曜日にお休みがとれない状態です。ただデイサービスについては日中だけの勤務になりますが、募集件数としては少ないです。ほとんどがグループホームであるとか夜勤を伴う交替制のお仕事ということが主な求人です。そして、資格としては介護福祉士というのが目につきます。中には経験不問というのもありますが、それは本当に珍しいことで事業主としては少なくともホームヘルパー2級以上の有資格者を求めていたる状況が多いようです。

## Q4：福祉人材コーナーの利用状況はどうですか？

昨年8月から運営を開始し、現在は利用者も就職者も増えています。介護、看護、保育を含めた福祉の就職に関するご相談ということで退職された方や退職してかなり期間が空いている方、また在職者の方でもそういうニーズ（転職など）があればご相談させていただくという形をとっています。

## Q5：福祉人材コーナーで相談されて介護職に進まれる方はいらっしゃいますか？

もちろんいらっしゃいます。職種変更される方も多いですね。介護の仕事はだんだん増えており、また、資格をとる機会も増えているので目を向けてみようかなと思われる傾向があると思います。どちらかというと以前に介護職に就いていた方よりは未経験で挑戦しようとする方のほうが多いのではないかと思います。

## Q6：介護職の人材不足に対しての課題や取り組みについて教えてください。

なかなか事業主の必要な人数に達していません。希望者はいても、その方の求職条件が求人条件と異なっているいわゆるミスマッチが多いです。相談の中にも「土日休みたい」「子供が小さいのである程度時間を区切って働きたい」といった希望も多いですが、やはり事業主としては介護の仕事なので通常のシフト勤務に合わせて勤務してほしいとの希望は当然で、休みは不規則になります。このような双方の条件に違いがあり、就職に結びつきにくいという現状もあるわけです。そこでハローワークでは求職者の方には介護の仕事を知つるために就職支援のセミナーを開きレクチャーしています。また事業主の方には提出していただいている求人内容（例えば勤務時間体制や給料等）をもう少し働きやすい条件にして魅力のある求人になるよう、もう一度見直して頂いたりしています。求職者と求人者の条件の違いを少しでも少なくし双方のニーズに合うような形をとることでミスマッチを解消していくかと思っています。

### 求職者の皆様で福祉（介護・医療・保育）のお仕事をお探しの方へ

注目されている“福祉人材コーナー”では福祉分野への就職に向けた支援のサポートを行っており、その内容を教えていただきました。



場 所：松山市六軒家町3番27号 ハローワーク松山2F  
089-917-8618 Fax 089-917-5255

開所時間：月～金曜日・午前8時30分～午後5時15分  
(土・日曜日・祝日・年末年始は休日)

福祉人材コーナーのサービスメニュー		
● 担当者制の相談	● 職業適性相談	● セミナー
● 職業訓練	● 職場定着指導等	● 応募する求人の選定支援等
● 個別求人開拓	● 職場見学会	● 面接会
● 応募書類の作成支援	● 面接に関する支援	

福祉人材コーナーをはじめてご利用される方は、“松山福祉人材コーナー相談希望票”をご記入の上、窓口に提出します。また、ハローワークカードをお持ちの方はこれを添えて、窓口にご提出ください。

愛媛県立松山高等技術専門校の徳本校長からは、平成22年5月現在での「介護関連の職業訓練について」お話を伺いました。

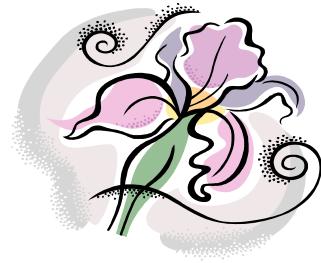
松山管轄内では職業訓練として、介護福祉士養成コースとホームヘルパー2級養成コースを実施しています。介護福祉士養成コースの訓練期間は2年となっており、卒業することにより「介護福祉士」の資格が取得できます。その他の資格取得も可能ですが委託先により異なり、ホームヘルパー2級を取得後、介護福祉士を目指される方もいるようです。今年の募集は締め切りましたが愛媛医療福祉専門学校と松山東雲短期大学で訓練を行っています。ホームヘルパー2級養成は年4回の募集があり訓練期間は2ヶ月となっています。委託先の特定非営利活動法人アクティブボランティア21で訓練を行っています。

昨年度訓練生の募集状況についてはどちらも競争倍率は約2倍となっています。卒業生の就職状況は介護福祉士養成コースは期間が2年間ということで、まだ卒業生がいないのですがホームヘルパー2級養成コースの卒業生は42名が介護福祉関連職を含む様々な職種へ就職されています。



## 介護福祉士を目指す受講生の声

愛媛医療福祉専門学校にてアンケートに答えていただきました。



### Q1：介護福祉士養成コース受講の動機を教えてください。

- 父親の入院をきっかけに介護福祉士になりたいと思ったが自費で学校に行く余裕もなく諦めていたところ、このコースができたので受講した。(女性 30代)
- 身内に要介護者が出ていた時に介護福祉士の存在を知り、しっかりした知識と技術を習得して、これからの身内の介護に真剣に役立てたいと思った。(女性)
- ハローワークから介護職の話をされ、介護の仕事をしている友人に福祉の仕事のやりがいなどを聞いて私もやってみようと思った。(女性 30代)
- 人の役に立ちたいという気持ちとこれから必要不可欠な職業になってくるので受講した。(男性 20代)
- 祖母二人を亡くし介護が必要になった当時、老保施設に入っている二人に何も出来なかつた。父母も70歳代になり専門知識も必要であるし少しほは冷静に判断できるかと思ったので受講。(女性 40代)
- これからニーズにあった職種であるし、父母とも介護の対象者であったので妹に長い間お世話になつたので今度は自分でやってみたいと思ったから。(男性 50代)
- 今まで手に職がなく働いてた。友達の薦めで後押しされ学校に来ようと思った。(女性 30代)

### Q2：実際に受講されてどうですか？



- 福祉や高齢者に対する価値観が大きく変わった。専門職に就く事に誇りをもっている。(男性 30代)
- 実際はオムツ交換や食事の介助だけでなく高齢者がどの様な病気になりやすいか、コミュニケーションの取り方も様々だということを知った。(男性 20代)
- 私は施設で3ヶ月程働かせて頂いたが、わからないことばかりだった。受講してみて根拠がわかる様になり各講義を全て吸収してやるという気持ちで受講している。(男性 20代)
- 独学で行うより専門の先生方から学べるため内容を理解しやすい。(女性 30代)
- 思っていたよりも奥が深いと思った。特に障害者の介護については難しく感じている。(女性 30代)
- 家庭があるので大変だが充実した時間を過ごしている。同じ介護をするにしても心構えや技術が身についているのといいのとでは違うと思われる所以で受講してよかったです。(女性 40代)
- 苦しい事が多いけれども、これを乗り越えた時ひとまわり大きく成長した説得力のある介護福祉士になれるよう信じて頑張っている。(女性)

### Q3：「介護職への転職について」考え方をお聞かせ下さい。



- 求人が多いので就職に対する不安はない。待遇も今後改善されていく職種だと思う。(女性 30代)
- 私はコンピューター関係からの転職になるが、機械相手の仕事より人間相手の方が仕事の達成感、やりがいは得られるのではないかと思う。(女性 40代)
- 自分の仕事に対して自信と誇りを持てるようになった。自分の行動一つ一つが社会的弱者である高齢者や障害者の日々の生活に役立つことを喜びに感じている。(男性 30代)
- 今後、社会から必要とされる職種なので将来に向けて不安は無いが仕事内容と給料が伴っていないので、その点をクリアしていく必要がある。(男性 30代)
- 自分の適性に合うか不安はあるが、今後、様々な意味で変化が期待される職種で将来の自分自身の生活に関わってくるため介護職としてのスキルが習得できる点が良いと思う。(女性 30代)
- 実習などで利用者さんと関わり仕事の流れを知り良さと悪さが分かってきたが、やりがいのある仕事だと思う。(女性 30代)
- アルバイト・パート希望なので募集がたくさんある職種だから頼もしく思う。しかし、勉強していく上で自分にできるのかという不安は増している。(女性 40代)
- 医療行為になるような事もしないといけないので、思っていた以上に責任重大で厳しい仕事だと実感した。しかし、それだけやりがいのある仕事であると思う。(女性 40代)
- 卒業後は介護職へ就き一生懸命頑張って、ケアマネージャーも目指したい。(女性 30代)
- 生きがいの得られる仕事だと思い受講した。給与等の労働条件がもう少し改善されることを望みながら続けていきたいと思う。(女性 40代)
- 介護職への待遇も少しずつ改善されてきてはいるが、まだまだ給与等が安い地域も多くあるため地元で働くか待遇の良い地域に行くかを考えている。(男性 20代)



#### 編集後記

職種変更を図り介護職に就職や転職することはとても勇気のいることだと思います。

今回アンケートに回答して頂いた愛媛医療福祉専門学校受講生のみなさんは介護職の担い手としての強い志と使命感を持ち、前向きな気持ちで学ばれているのでとても頼もしく思いました。



愛媛県委託事業（平成22年度 労働者の声発信事業）

発行 社団法人 愛媛県労働者福祉協議会

〒790-0066 松山市宮田町125番地 愛媛県労福協会館 3階

TEL 089-946-2296 FAX 089-947-5616

メールアドレス e-roufuku@leo.e-catv.ne.jp

